

職場の健康を、企業成長の力に。

東京中央産業医事務所

サービス一覧

産業医サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 産業医チーム制によるサポート 	<ul style="list-style-type: none"> ● メンタルヘルス対策 メンタルヘルス体制の構築支援/休職・復職支援サポート/再休職防止プログラム/メンタルヘルス教育研修
	<ul style="list-style-type: none"> ● 労働衛生に関するコンサルタント業務 産業保健の体制構築/安全衛生に関する助言/労働災害の防止の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ● ストレスチェック制度への対応 ストレスチェック制度の実施支援/高ストレス者への面接/組織改善
	<ul style="list-style-type: none"> ● 遠隔面談システムの活用 小規模・分散事業所へのサポート 	<ul style="list-style-type: none"> ● 過重労働対策 長時間労働面談/長時間労働防止のためのコンサルタント
	<ul style="list-style-type: none"> ● 法令対応 健康診断による就業判定/安全衛生委員会の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外勤務者の健康管理 赴任に関わる医療職による面接/赴任可否の判断/海外医療機関との連携
組み合わせ可能	<ul style="list-style-type: none"> ● メンタルヘルス顧問医 メンタルヘルス困難事例への対応/専門家としての評価・改善の提案/休職・復職設計の提案 	<ul style="list-style-type: none"> ● 保健師業務 保健指導・栄養指導/禁煙対策・生活習慣病対策/健康管理室の委託
	<ul style="list-style-type: none"> ● 予防医学コンサルタント業務 健康経営銘柄への取得支援/社員の活力向上の対策 	<ul style="list-style-type: none"> ● 講演・セミナー

代表挨拶

各企業が抱える多様な健康課題を解決するために東京中央産業医事務所を設立しました。産業保健における健康課題は産業社会の変化に伴い、従来の作業関連疾患や生活習慣病予防に加え、近年ではメンタルヘルス対策や過重労働対策はじめ多岐に渡り、年々増えています。これらの課題については企業の安全配慮義務や生産性向上など多くの観点から考える必要があり、産業保健分野に精通した産業医の役割の重要性が増しています。我々は産業医・精神科医を中心としたプロフェッショナル集団です。強みであるチーム体制とオンラインの活用により、幅広く均一かつ信頼性の高いサービス提供が可能になりました。我々は現場に応じた対応といつでも頼ってもらえる専門家、そしてクライアント企業、従業員を一つ先の健康に Lead する存在でありつづけます。必ずや企業経営者、担当者、従業員の皆様にご満足頂けるはずです。

代表 西埜植 規秀



お問い合わせ案内

TEL 03-5403-4697

受付時間平日：10:00～18:00

WEB <https://lead-tokyo.jp>

東京中央産業医事務所

所在地

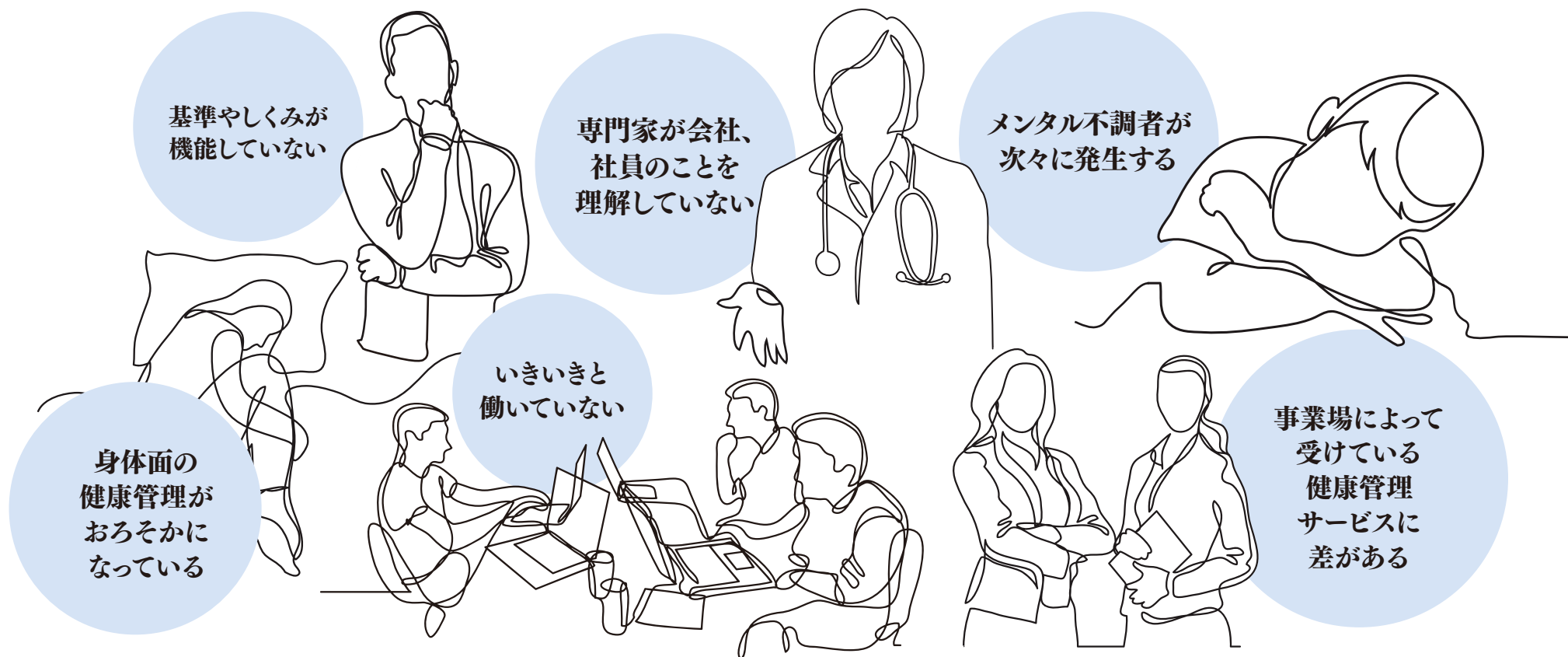
東京中央産業医事務所
〒106-0032
東京都港区虎ノ門4-3-1城山トラストタワー 27階

アクセス

東京メトロ日比谷線神谷町駅4b出口より徒歩2分
東京メトロ南北線六本木一丁目駅2番出口より徒歩5分

職場の健康管理には課題が山積！

でも、多くの企業が「解決の具体策」を持っていません。



その問題、東京中央産業医事務所が解決します。

01 Team

結果を出す専門家の集団。
様々な課題に最適なソリューションを提供。

産業医・精神科医の専門家がチームで対応し、企業が抱える課題に対して積極的に解決へ導きます。また復職基準などメンタルヘルスの仕組みづくりを構築し、保健師によるサポートも含めた企業の産業保健体制の確立を実践していきます。

02 System

遠隔面談システムの活用により、
全国どこでも均一なサポートを提供

ストレスチェックやメンタルヘルスなど産業医への要求は、年々増加しています。一方、分散事業所では、環境的な障壁が高く、同じ会社でも産業医のサポートに偏りがあるのが現状です。私たちは、ビデオ通話を利用した医療用の面談システムを活用し、全国どこでも均一なサポートを届け、課題の早期発見、迅速な対策を可能とします。

03 Support

提携医療機関の紹介から
職場復帰までをワンストップでサポート

メンタルヘルスの課題の一つに、産業医・人事・主治医が連携できず、効果的な職場復帰が進まないことが挙げられます。私たちは、信頼できる医療機関と提携しており、適切な主治医へご紹介をします。またメンタルヘルスを専門とする産業医が、休職の原因となった要因分析し、職場と社員のミスマッチを解消します。「入口から出口まで」をワンストップでサポートし、再休職のリスクを低減させます。

コストメリット

■ 従業員1人(40代前半 年収600万 男性)が6ヶ月間休職した場合の年間コスト
休職前3ヶ月+休職期間6ヶ月+休職後3ヶ月(試し勤務) ※従業員1000人前後の企業を想定

本人へ支払う費用	
休職中の手当(月給50万×2/3×休職期間6ヶ月)	200万円
休職前後の給与(月給50万×6ヶ月)	300万円
本人以外で発生する費用	
既存社員の増加残業代(※内閣府試算による)	422万円
派遣社員1名増加コスト(月給22万×契約期間6ヶ月)	132万円
上司・人事の対応コスト(月2万円×休職期間6ヶ月)	12万円
合計	1,066万円
全従業員の1%相当(10人)が休職していると仮定	1,066万円×10人=1億660万円/年間
派遣社員の採用コスト、PC・インフラ・セキュリティコスト、プレゼンティーズム、顧客対応遅延による損失	

休職者が10名発生した場合、企業は年間で1億円以上のコストがかかる

医師紹介



代表 西埜植 規秀

産業医科大学医学部医学科卒業。松下電器健康保険組合(現パナソニック健康保険組合)産業医を経て、2005年よりライオン株式会社統括産業医として勤務し、2015年より、にしのうえ産業医事務所開設。現在は複数企業の産業医を主業務とし、その他、労働衛生コンサルタント、講演、執筆、学生指導、研究活動を行っている。

資格 医師、医学博士、労働衛生コンサルタント、
日本産業衛生学会専門医・指導医、社会医学系指導医
所属学会等 日本産業衛生学会(関東産業医部会幹事、多職種連携の会幹事)、日本産業精神保健学会



パートナー 来田 誠

京都大学医学部医学科卒業後、大阪赤十字病院、医療法人養心会国分病院に勤務。2010年より大和西北大寺きょうこクリニック院長を経て、2016年1月新六本木クリニックを開設。精神科遠隔医療のパイオニアとして診療に従事する傍ら、上場企業の精神科産業医として勤務。自治医科大学 地域医療学教室では、遠隔医療、禁煙治療、精神科診療に関する研究や教育を行っている。

資格 医師(精神科医)、精神保健指定医、産業医、
日本精神神経学会認定 精神科専門医・指導医
所属学会等 日本精神神経学会、日本産業精神保健学会、日本遠隔医療学会



パートナー 佐々木 規夫

産業医科大学医学部医学科卒業。東京警察病院を経て、HOYA株式会社の専属産業医及び健康推進グループ統括マネージャーとして企業の健康管理に従事。現在は精神科医として勤務する傍ら、上場企業や主要官庁の産業医を兼務している。また、北里大学大学院産業精神保健学教室において、職場のコミュニケーション、組織公平性に関する研究や教育を行っている。

資格 医師(精神科医)、医学博士、労働衛生コンサルタント、日本産業衛生学会指導医、
社会医学系指導医、メンタルヘルス法務主任者
所属学会等 日本産業衛生学会、日本精神神経学会、日本産業精神保健学会



パートナー 染村 宏法

産業医科大学医学部医学科卒業。国立病院機構九州医療センターに勤務。2007年よりオリンパス株式会社の専属産業医、2012年より富士電機株式会社の専属産業医として勤務。現在は昭和大学附属鳥山病院に精神科医として勤務する傍ら、北里大学大学院 産業精神保健学教室において、職場のコミュニケーション、認知行動療法、睡眠衛生に関する研究や教育を行っている。

資格 医師(精神科医)、医学博士、労働衛生コンサルタント、
日本産業衛生学会専門医・指導医、社会医学系指導医
所属学会等 日本精神神経学会、日本うつ病学会、日本統合失調症学会、日本産業衛生学会、日本産業精神保健学会